

迎古夢旅 4555 : 7月の北海道・大間崎港へ 231

この時も画像記録しているが、同じような光景なので省略。
しかし、私には楽しい時間。何しろ、いくつになっても、子供心が健在の夢追人。

なんでもない光景が、目新しく、面白く楽しい。
港を離れる様も、愛おしく、天候も、気にならなかった。



函館山が、遠くなっていく。見えなくなるまで見ていた。
沖ゆく船も、どこに行くのか、また、どこから来たのか、大きなお世話だが、
想像を楽しむ、ひと時。



やがて、大間崎港に到着。想像以上に何も見当たらない漁村。
街も訪ねたが、素朴なたたずまい。本州、下北半島、最北端に、今いる実感。
7月の東北。頬にあたる風が、実に心地がいい。